

対象植物の範囲

本審査基準は、ユリ科 (Liliaceae) のサンダーソニア属 (*Sandersonia* Hook.) を対象とする。サンダーソニア属は1属1種であり、南アフリカを原産とする塊茎性の多年草である。サンダーソニア・オーランディアカ (*Sandersonia aurantiaca* Hook.) のみ知られている。本属は分類体系によっては、イヌサフラン科 (Colchicaceae) に分類されることもある。

特性審査基準
(1) 特性審査基準

重要な形質	No.	形 質	定 義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
草丈	1	草丈	地際から植物体最頂部までの高さ(1茎当たり5花開花期)	測定 (cm) 図1	低 中 高	3 5 7	オーランティアカ	
茎の形状	2	茎の太さ	主茎中央部の長径(1茎当たり5花開花期)	測定 (mm)	細 中 太	3 5 7	オーランティアカ	
	3	茎の色	主茎中央部の茎の色	観察	淡緑 緑 濃緑 褐 紫褐 その他	1 2 3 4 5 9	オーランティアカ	
	4	茎の毛の有無	主茎の毛の有無	観察	無 有	1 9	オーランティアカ	
	5	節間長	主茎中央部の5節間の平均の長さ(1茎当たり5花開花期)	測定 (mm)	短 中 長	3 5 7	オーランティアカ	
	6	茎の分枝数	茎の分枝の発生程度(1茎当たり5花開花期)	測定 (本)	0 1 2 3 4以上	1 2 3 4 5	オーランティアカ	
	7	葉形	主茎中央部の葉の形	観察 図2	線形 披針形 長楕円形 楕円形 その他	1 2 3 4 9	オーランティアカ	
葉の形状	8	葉長	主茎中央部の最大葉の長さ	測定 (cm) 図3	短 中 長	3 5 7	オーランティアカ	
	9	葉幅	主茎中央部の最大葉の幅	測定 (mm) 図3	狭 中 広	3 5 7	オーランティアカ	
	10	葉色	葉の表面の色	観察	黄緑 淡緑 緑 濃緑 その他	1 2 3 4 9	オーランティアカ	
	11	葉数	主茎の展開葉の数(1茎当たり5花開花期)	測定 (枚)	少 中 多	3 5 7	オーランティアカ	
	12	葉の光沢	葉の表面の光沢の程度	観察	弱 中 強	3 5 7	オーランティアカ	

重要な形質	No.	形 質	定 義	調 査 方法	状態又は 区分	階級	標準品種	備 考
葉の形状	13	葉の毛の有無	葉の表面の毛の有無	観察	無 有	1 9	オーランティアカ	
	14	葉の着生角度	主茎中央部の葉の着生角度	観察 図 4	斜上 水平 斜下	1 2 3	オーランティアカ	
花の形状	15	花数	一茎当たりのつぼみを含む全花数(1茎当たり5花開花期)	測定 (花)	少 中 多	3 5 7	オーランティアカ	
	16	花筒の長さ	花筒の長さ	測定 (mm) 図 5	短 中 長	3 5 7	オーランティアカ	
	17	花筒の幅	花筒の最大幅	測定 (mm) 図 5	狭 中 広	3 5 7	オーランティアカ	
	18	花筒の開口部の直径	花筒の開口部の直径	測定 (mm) 図 5	小 中 大	3 5 7	オーランティアカ	
	19	花筒表面の色	花筒表面の主な色	測定	JHSカラーチャートの色票番号による			
	20	花筒表面の複色の有無	花筒表面の複色の有無	観察	無 有	1 9	オーランティアカ	
	21	花筒表面の複色の分布	花筒表面の複色の分布の型	観察	基部 先端 基部と先端 その他	1 2 3 9	オーランティアカ	
	22	花筒表面の複色の色	花筒表面の複色の色	測定	JHSカラーチャートの色票番号による			
	23	花筒の退色の程度	花筒表面の退色の程度	観察	弱 中 強	3 5 7	オーランティアカ	
	24	花筒の先端部の形	開花始めの花筒先端の凹凸の形	観察 図 6	凸型 平型 凹型	1 2 3	オーランティアカ	
	25	花柄の長さ	最長の花柄の長さ	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7	オーランティアカ	
早晩性	26	開花期	第1花の開花期	観察	早 中 晩	3 5 7	オーランティアカ	

(2) 特性審査基準(案)参考図

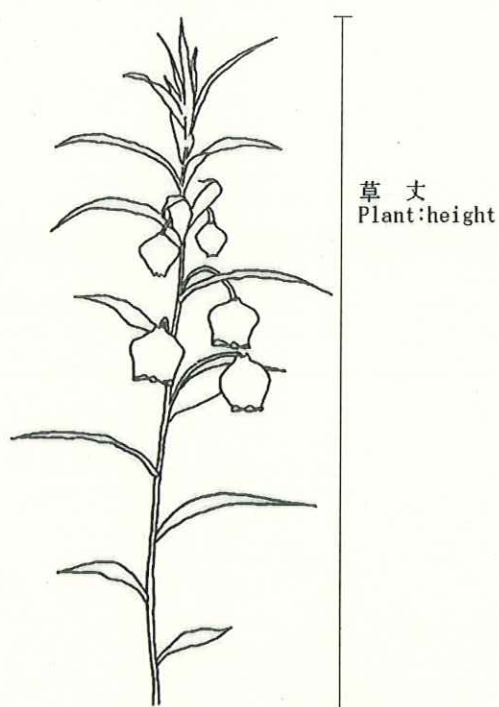


図1 草丈 (形質No. 1)
Fig.1 Plant:height (Char. No.1)

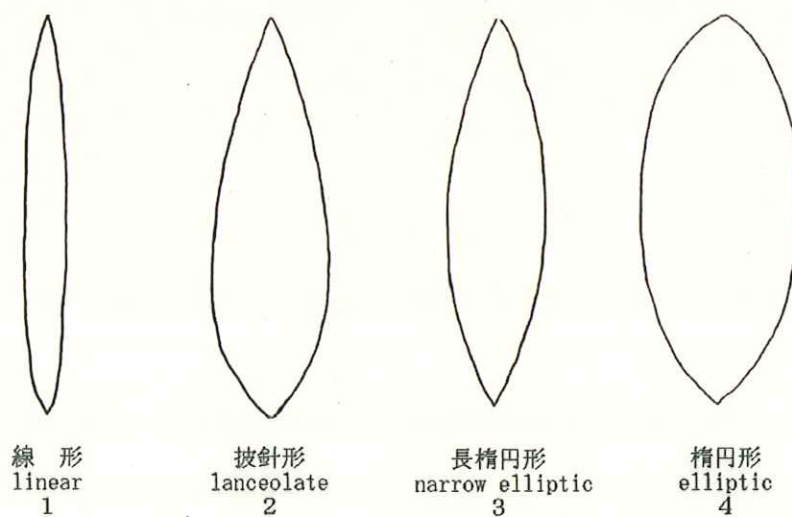


図2 葉形 (形質No. 7)
Fig. 2 Leaf:shape(Char. No.7)

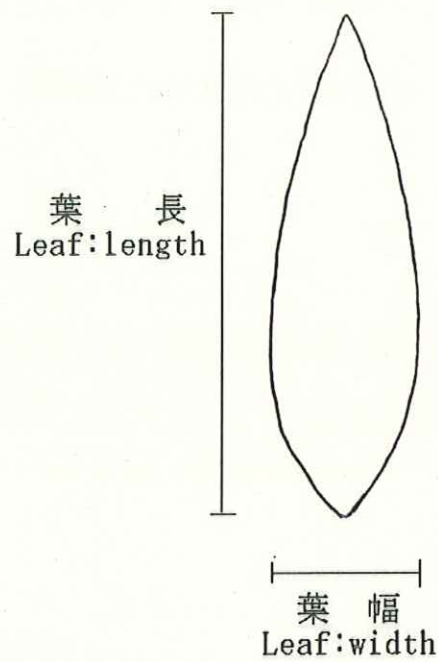


図3 葉長(形質No. 8)、葉幅(形質No. 9)
Fig. 3 Leaf: length (Char. No. 8), Leaf: width (Char. No. 9)

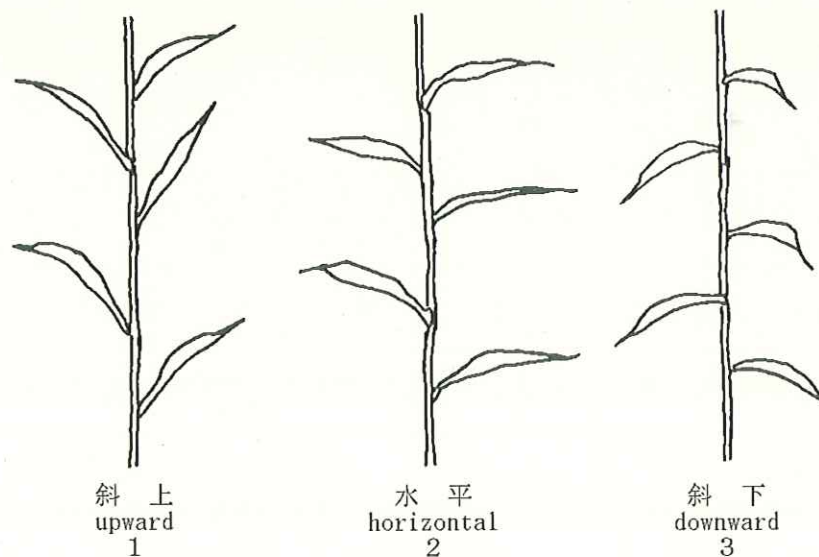


図4 葉の着生角度(形質No. 14)
Fig. 4 Leaf: attitude to stem (Char. No. 14)

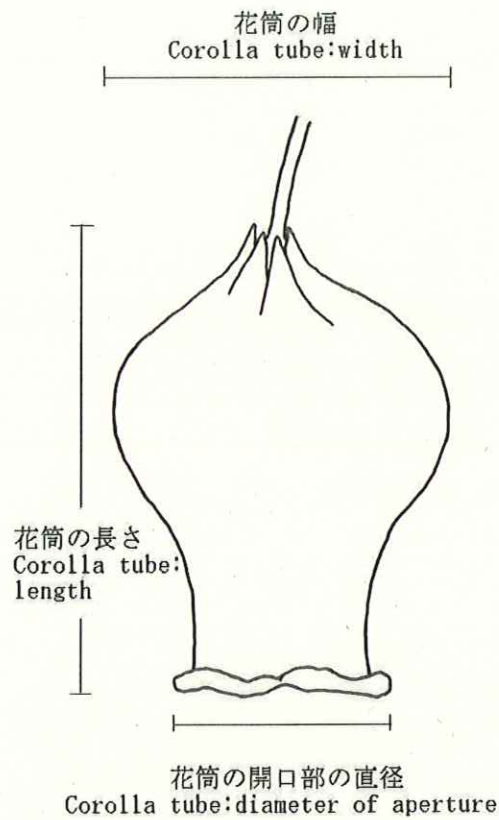


図5 花筒の長さ(形質No. 16)、花筒の幅(形質No. 17)、
花筒の開口部の直径(形質No. 18)
Fig.5 Corolla tube:length(Char.No.16),
Corolla tube:width(Char.No.17),
Corolla tube:diameter of aperture(Char.No.18)

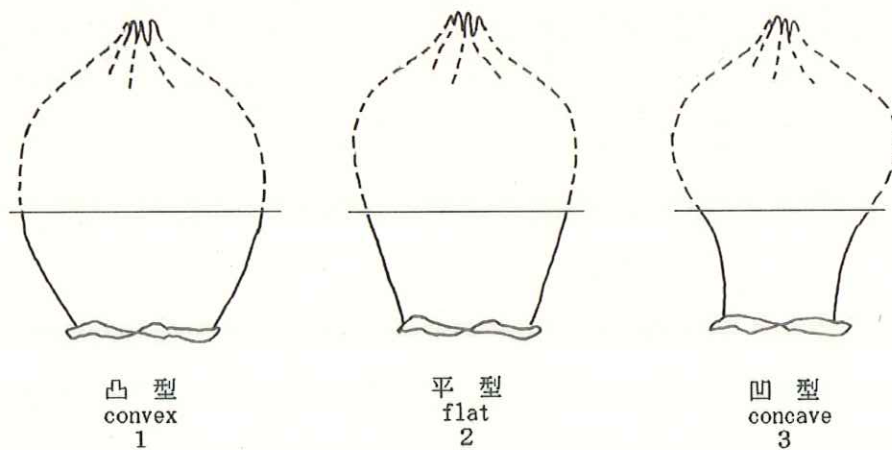


図6 花筒の先端部の形(形質No. 24)
Fig.6 Corolla tube:shape of upper part (Char.No.24)

(3) Table of Characteristics (*Sandersonia*)

No.	Characteristics	States	Note	Example varieties	Remarks
1	Plant : height Fig.1	short medium tall	3 5 7	<i>S. aurantiaca</i>	
2	Stem : thickness	thin medium thick	3 5 7	<i>S. aurantiaca</i>	
3	Stem : color	light green green dark green brown purplish brown others	1 2 3 4 5 9	<i>S. aurantiaca</i>	
4	Stem : pubescence	absent present	1 9	<i>S. aurantiaca</i>	
5	Stem : internode length	short medium long	3 5 7	<i>S. aurantiaca</i>	
6	Stem : number of branch	0 1 2 3 more than 3	1 2 3 4 5	<i>S. aurantiaca</i>	
7	Leaf : shape Fig.2	linear lanceolate narrow elliptic elliptic others	1 2 3 4 9	<i>S. aurantiaca</i>	
8	Leaf : length Fig.3	short medium long	3 5 7	<i>S. aurantiaca</i>	
9	Leaf : width Fig.3	narrow medium broad	3 5 7	<i>S. aurantiaca</i>	
10	Leaf : color of upper side	yellowish green light green green dark green others	1 2 3 4 9	<i>S. aurantiaca</i>	
11	Leaf : number	few medium many	3 5 7	<i>S. aurantiaca</i>	
12	Leaf : glossiness of upper side	weak medium strong	3 5 7	<i>S. aurantiaca</i>	
13	Leaf : pubescence of upper side	absent present	1 9	<i>S. aurantiaca</i>	

No.	Characteristics	States	Note	Example varieties	Remarks
14	Leaf : attitude to stem Fig.4	upward	1	<i>S. aurantiaca</i>	
		horizontal	2		
		downward	3		
15	Flower : number	few	3	<i>S. aurantiaca</i>	
		medium	5		
		many	7		
16	Corolla tube : length Fig.5	short	3	<i>S. aurantiaca</i>	
		medium	5		
		long	7		
17	Corolla tube : width Fig.5	narrow	3	<i>S. aurantiaca</i>	
		medium	5		
		broad	7		
18	Corolla tube : diameter of aperture Fig. 5	small	3	<i>S. aurantiaca</i>	
		medium	5		
		large	7		
19	Corolla tube : main color	JHS color chart No. Color name			
20	Corolla tube : variegation	absent	1	<i>S. aurantiaca</i>	
		present	9		
21	Corolla tube : secondary color distribution	base	1	<i>S. aurantiaca</i>	
		top	2		
		base and top	3		
		others	9		
22	Corolla tube : secondary color	JHS color chart No. Color name			
23	Corolla tube : discoloration	weak	3	<i>S. aurantiaca</i>	
		medium	5		
		strong	7		
24	Corolla tube : shape of upper part Fig.6	convex	1	<i>S. aurantiaca</i>	
		flat	2		
		concave	3		
25	Peduncle : length	short	3	<i>S. aurantiaca</i>	
		medium	5		
		long	7		
26	Time of flowering	early	3	<i>S. aurantiaca</i>	
		medium	5		
		late	7		

特性検定のための栽培方法

(1) 栽培試験方法

ア栽培方法

作型	加温施設栽培
植付け時期	3月中・下旬
植付け用土	排水のよい砂質土壌がよい。
植付け	休眠覚醒した5g以上の塊茎を二股になった先端部分にある芽を上にして2~3cmの深さに植える。
施肥	10a当たり窒素15kg、リン酸13kg、カリ15kgを基本とする。ただし窒素成分は元肥に10a当たり10kgを与え、残りは萌芽後一ヶ月以内に分施する。
灌水	乾燥に強く過湿に弱いので、植付け前に十分灌水した後は、床面が乾くまで次の灌水を控える。栽培中、特に第一花の開花期以降はやや乾燥気味にする。
病虫害防除	切断した塊茎は腐敗しやすいので植付け前に消毒する。夏期間はハダニ、アブラムシが発生するので注意する。

イ供試個体数 1区15個体、2反復

ウその他

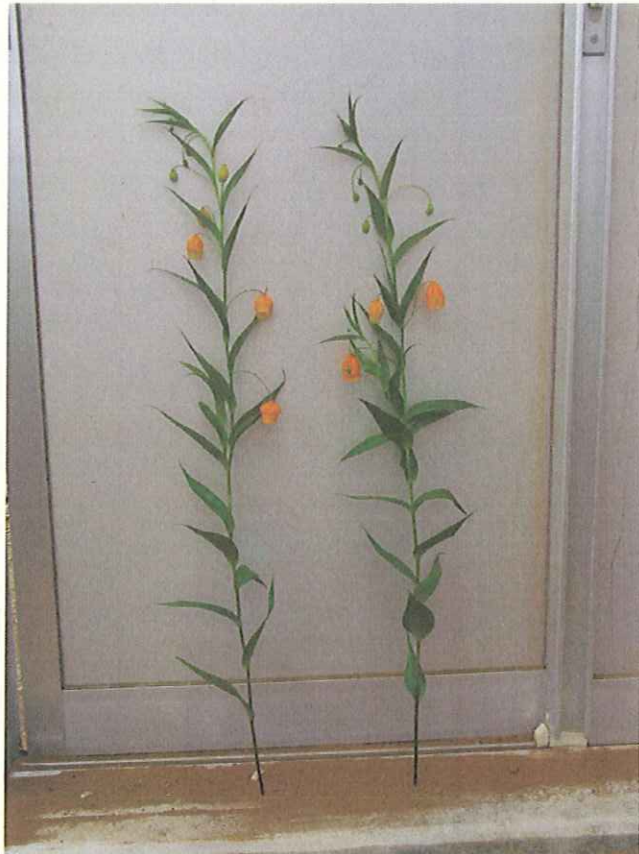
倒伏防止	植付け前にフラワーネットを敷いておき、生育に合わせてネットを上げ倒伏を防止する。
塊茎	収穫直後の塊茎は休眠状態にあるので、休眠が覚醒している塊茎を植付ける。
温度管理	最低15℃以上の温度を保ち、昼間は30℃以上にならないように換気に努める。夏の高温期には遮光を行い温度低下を図る。

(2) 栽培及び調査の留意点

分枝の発生は昼温17℃、夜温12℃以下の低温及び夏の高温で抑制されることが指摘されているので注意する。

(3) 調査時期

1茎当たり5花開花期に調査を行う。



植物体

サンダーソニア・オーランティアカ



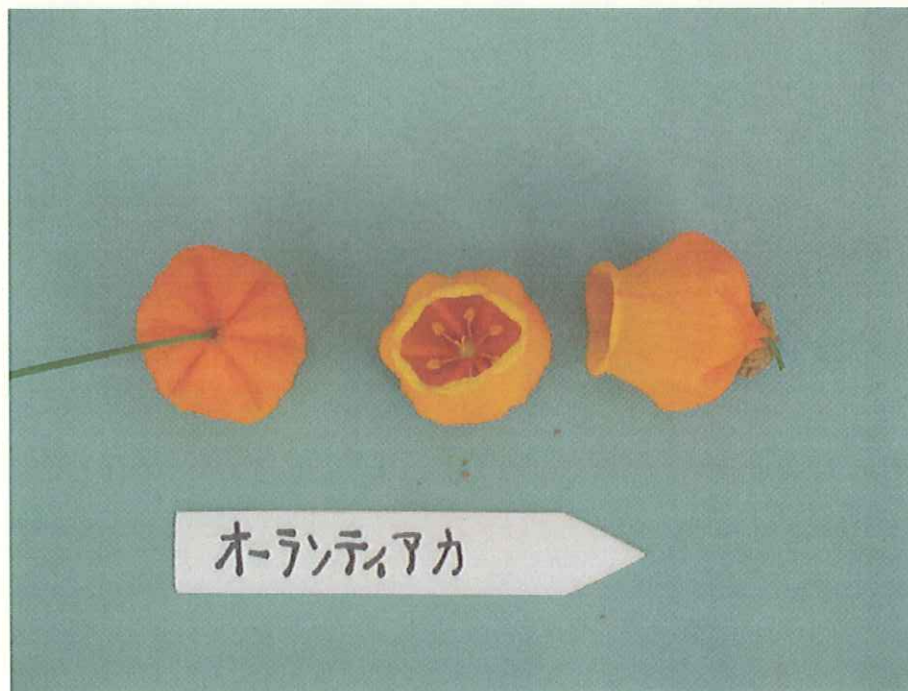
茎

サンダーソニア・オーランティアカ



葉

サンダーソニア・オーランディアカ



花

サンダーソニア・オーランディアカ